

## 「日々、成長する為に」

山本硝子建材 代表 やまもと ゆういち 山本 裕一



住 所: 加古川市米田町平津666-1  
T E L: 079-432-4606  
営業内容: 住宅ガラス・アルミサッシ卸売業

私は加古川市と高砂市との境界にある米田町で、住宅ガラス・アルミサッシの卸売業をしております。43年間、この町から出て過ごしたことがなく、もちろん加古川生まれ加古川育ち、生粋の加古川人です。

仕事は、1960年に祖父が開業し、今年で65年になります。元々曾祖父が洋服屋を営んでおり、その後アイスクリームの販売を手掛け、当時主流だった木製建具にガラスを入れる仕事を始め、時代の流れと共に現在に至っている

と聞きました。

38歳の時、取引先の方に加古川平成ロータリークラブに誘われました。ただ、「入らないか？」とは言われておらず、「自分を磨ける場所がある。あとは自分次第や」と言われたことを覚えています。当時とても迷いましたが、自分も成長しなければならぬと常日頃から思っていたこともあり、思いきって入会させていただくことにしました。

いざ入ってみると、いろいろな年代や職種の方が分け隔てなく接してくれて、すぐに仲良くなることができました。私は大学を卒業後すぐにこの仕事に就いた為、外の世界を知らなかったのも、とても新鮮に映りましたし、そこで人との付き合い方を学ぶことができ、人前に出ることが怖くはなくなりました。(緊張は未だにずっとします)

しばらくして、ロータリーの先輩に加古川商工会議所青年部を紹介していただき、自己成長につなげるべく今度は自らその門を叩きました。そこでは自分と同世代や、もっと若い経営者たちが集い、自企業を更に発展させるべく奮闘されている方、全く違う業種に果敢に挑戦されている方等：多くの方との出会いがあり、自分が井の中の蛙であることを改めて知らされましたし、本当に刺激になりました。

取引先は高齢で離職していく方が多い中、新しく仕事の輪も拡がり、仲間もたくさんできました。特に同級生の集まりである「56年会」は心の支えとなっていて、もし一人で仕事を続けていて、ずっと狭い世界の中で生きていたらと考えると、あの時勇気を出して飛び込んでよかったと本当に思います。

今年度は新たな出会いと学びを求め、近畿ブロックYEGにも出向させていただいております。来月には加古川の地でブロック大会を控え、正直かなり慌ただしい日々を過ごしておりますが、その分毎日がとても充実しています。そしてこんな時こそ、足元をすくわれないように気を付けたいと思います。自信の上には奢りがあり、謙遜の下には卑屈がある。『どんな些細なことでも自分の糧とし、驕ることなく日々成長していければと思う今日この頃です。』